



## こんな「振り返り」も・・・

自然学校に限らず、活動を通して体験したことをそれだけで終わらせないために、活動を共にした仲間と活動中の出来事について思い出し、振り返ることは、次の活動へ繋げる大事なプロセスと言えます。振り返りの方法として、友だちと話し合ったり文章に書いたり、またそれらを発表し合ったりすることがあります。そうすることで、個人や班での考えを深めて行くことができます。

本校では、自然学校での思い出をカルタで表現する「南但馬自然学校ふりかえりカルタづくり」（詳細は、機関誌「どんぐり」NO, 59の5ページ参照）を進めてきましたが、他の特色ある「振り返り」を実践した学校を紹介します。

### 1 豊岡市立資母・合橋・高橋小学校連合



本校での活動を振り返る「共同作品づくり」は、班で心に残ったことを自然物で表現する活動です。この活動は、振り返りだけでなく、どの活動をどのようにして作るのかなどを相談することで、コミュニケーション能力を高める、自然物で構成するので自然物にじっくりと触れることができるというねらいも持っているそうです。キャンプファイヤーや竹田城跡登山、野外炊事などをお互いに語りながら楽しそうに活動する姿が見られました。

### 2 明石市立谷八木小学校



5日目の「自然の音を奏でよう」では、第2ファイヤー場で、石や竹、木の枝、木の丸太等を使って音を出したり、その音を生かして自然学校の思い出をラップ調で発表したりするなど、学校では味わうことのできない貴重な体験に取り組みました。「自然物の使い方、こんなに音が変わるんだと思いました。自然の音は多様でした」など、様々な感想があり、今までに、自然物を使って音を出して聞いてみた経験はなかったようで、新しい感覚を得たそうです。

## 今年もいっぱい遊びました！

福崎町立田原・福崎・高岡・八千種小学校連合の子どもたちは、活動と活動の空いている時間を利用して、芝生広場で自由遊びをしました。指導課だよりNO, 12でも紹介しましたが、昨年度は11月末であり日が暮れるのが早かったの



で、そんなに長い時間遊んだという印象はありませんでした。しかし、今年は6月の中旬で、日が暮れるのが遅いこともあり、夕食・入浴後の19時過ぎまで遊んでいました。最終日は、選択活動が始まるまでの時間を使っていました。放課後、塾や一斉下校の関係から遊ぶ機会が少ない学校の子どもたちが、初日の持参弁当を早く食べ終え、芝生広場の斜面を駆け下り遊んでいることがあります。その後は、指導補助員が中心となって大屋根広場で音楽に合わせて踊っているという程度ですが、福崎町の子どもたちは、ず〜っと子どもたちが考えた遊びに夢中になっていました。次の活動に間に合うのかと心配するぐらいでしたが、4校の交流にもなり、本来の子どもの姿が見られたようでした。思いっきり体を動かすだけでなく、遊びを通して、ルールを学び、自然と社会性を育むようになっていくのだと感心するばかりでした。

## 第1回自然体験活動1日講座を開催！



平成26年6月24日（火）に、「自然に親しむ」をテーマに第1回自然体験活動1日講座を開催したところ、高等学校の10年経験者研修受講者8名を含む38名の先生方に参加いただきました。

午前中は、日本余暇文化振興会研究員の松井先生による「野遊び」で、草花と葉でつくる首飾りやイタドリでつくる笛などの草花遊びをしたり、熊笹で笹舟を作ったりしました。最近の子どもたちの傾向として

「コミュニケーションが不得手」であり、コミュニケーションをとる媒体として野遊びが有効であることを体感できた研修であったと好評でした。



午後からは、今年度からの新規アクティビティ「自然発見！ウォーク」を体験して振り返り、「五感」と「言語活動の充実」に視点をあてた新たなビンゴシート設問づくりを各グループで進めていきました。これらの活動を通して、自然体験活動に係る技術や指導法について研修を深め、指導力の向上を目指しました。

### ☆参加者の感想より（一部抜粋）☆

- ・十分に自然に親しむことができ満足度は高いと思います。自然の中で何かをして遊ぶというよりは、**自然そのものと触れ合い、楽しみを見出す**というところが良かったです。
- ・**植物を使っての遊びや工作活動がこんなにも楽しいもの**だとは思いませんでした。ぜひ子どもたちにも伝えられたらうれしいです。
- ・**野遊びは、本当に今の子どもたちに必要なこと**だと思うので、今日習ったことを学校に帰ってから活かしていきたいと思います。
- ・午後からは班の仲間と協力して散策し、チェックポイントをまわることで、**自分一人では気付くことのない自然の発見**があり、楽しめました。
- ・ウォークラリーのビンゴのワークシートは、**学校探検や町探検でも使える**ので使ってみたい。その時に**五感や言語活動の充実も意識**したい。

### ◇先生方が考えられたビンゴシートの設問（一部抜粋）◇

- ・いい香りのする花や草を見つけて、スケッチしよう。（嗅覚）
- ・けろトープで、耳をすまして聞こえた音を書こう。（聴覚）
- ・人の顔より大きな葉っぱを見つけよう。（視覚）
- ・トゲトゲしたものを見つけよう。（触覚）
- ・酸っぱい味のするものを一つ、持ち帰ろう。（味覚）
- ・ウォークラリーをして感じたことを漢字一字で表現しよう。（言語）



子どもたちが本校の施設を知るための入校後すぐの施設散策オリエンテーリングでは、班員と協力しながら遊び感覚で楽しそうに取り組んでいますが、上記のような設問を子どもたちに与えることで、南但馬自然学校の自然に五感を通して触れ、班内での話し合い活動をより一層活発にしていけることと思います。これらは、知の体験へ繋がる活動になると考えています。

#### 編集後記

活動での振り返りは、感想や反省ではありません。P D C Aサイクルの**Check**（評価）にあたりません。次の活動に向けての**Action**（改善）に繋げるものです。自然体験活動1日講座のビンゴシートの設問づくりも、現活動の改善に繋がるはずです。（文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也）